

## 令和2年度 事業報告書

(自) 令和2年4月1日

(至) 令和3年3月31日

### 1. 事業の概況

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、国内外ともに大変厳しい環境となりました。感染拡大防止の観点から、さまざまな社会活動に制限がかかり、計画していた事業の推進、実施は困難を極めました。予定されていた緑化やゴルフ関連の行事、イベント等も中止や延期を余儀なくされました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止には、3密（密閉空間・密集場所・密接場面）回避が必須と厚生労働省の指針が出され、誰もが沿うように努め活動休止が必然のスポーツ界でした。ゴルフは他のスポーツと同様に大変な時期を共有いたしました。屋外・個人競技の魅力が見直され、新たにゴルフを始める姿やセルフプレーで楽しむ姿が見られたことは、可能性を実感するとともに、大いなる希望のひとつではありました。

平成31年度よりスタートいたしました岩手県野田村のハマナス植栽事業、二戸市の漆植栽事業、そして新たな地域での「ゴルファー桜の森」の造成は、計画通り推進できませんでした。

しかしながら、地方自治体や関連団体の変わらないご協力のお陰で、全国の公共施設（学校・福祉施設・公園・河川等）を対象に、植樹、除伐、土壌改良など、緑化事業を推進できました。昨年度、好評をいただいた屋外での「森林教室」は、緊急事態宣言の解除後、学校から要請がありましたので、感染防止対策を入念に行い規模を縮小し、実施しました。児童たちの笑顔とともに、学校からも喜ばれ、あらためて本事業の意義を確認した次第です。令和3年3月28日（日）には、親子対象の海岸ごみ清掃活動「深沼海岸マイクロプラスチックごみ清掃大会」を開催し、各々が、親子が、そして皆が、海洋プラスチックごみについて、現状を「知り」、これからを「考える」という令和2年度の締めくくりとして相応しい機会を提供できました。

当会の事業は、今や世界の共通認識用語となった「Sustainable：持続可能」な環境づくりを実施している活動と確信しております。これはまさに、全国のゴルファー、ゴルフ場、会員の皆さまをはじめ、関連団体の方々の、創立以来、変わらないあたたかいご理解、ご支援の賜物と心より感謝いたしております。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の収束を祈りつつ、令和3年度へ繋いでまいります。

### 2. 会員増等への取り組み

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、感染拡大防止の観点から社会活動に制限がかかり、新会員の勧誘等は控えざるを得ませんでした。

そのような厳しい状況のなかでも、ゴルフを楽しむホールインワン・アルバトロスを達成された 117 名の方々からご寄付をいただきました。

### 3. 事業活動

#### (1) 地方緑化事業

##### 1. 緑化協力金の配分

令和 2 年 9 月（第 87 回配分：令和 2 年 1 月～6 月緑化協力金分）と、令和 3 年 3 月（第 88 回配分：令和 2 年 7 月～12 月緑化協力金分）に、地方緑化事業費として 22.5 百万円を下表の各団体に配分しました。

〔ゴルフ場の区分による地方緑化事業費の配分(委託)先 等〕

ゴルフ場の区分	緑化協力金の配分(委託) 団体	委託事業内容と地方緑化事業費配分額 合計 22,542 千円
① 一般ゴルフ場	都道府県緑化推進委員会等	公立小中学校、病院、福祉施設等、社会公共施設への美化緑化等 16,511 千円
② 国立公園内ゴルフ場	国立公園地域内団体等	国立公園等の環境・美化緑化活動 106 千円
③ 河川敷ゴルフ場	河川財団	協力ゴルフ場のある水系の河川及びその近傍における美化緑化等 5,925 千円

##### 2. 地方緑化事業

当会が配分した前項の緑化協力金に基づき、各都道府県緑化推進委員会や国立公園地域内団体、公益財団法人河川財団では、健全な緑化推進・環境保全や改善のための植樹緑化事業を推進いただきました。また、社会環境の変化に応じ、植栽樹木のメンテナンスや除伐等も積極的に取り入れていただきました。

##### 3. 地方緑化事業の規模

地方緑化事業以外に次項で述べる「全国緑化事業」「植樹緑化事業」においても、例年、健全な緑化推進・自然環境保全活動、そして自然災害による被災地のための植樹・環境改善、さらには子どもたちのための教育環境緑化推進等を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で、計画通り実施できませんでした。可能な範囲、可能な方法での推進に努めました。

#### (2) 全国緑化事業

環境省、林野庁、都道府県等が主催する緑化・環境関連行事や民間の関連事業に、毎年協賛や協力をしてありますが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、あらゆる行事やイベントは延期や中止となりました。

##### 1. マツ枯れ対策

松くい虫防除対策として、東京大学大学院農学生命科学研究科付属演習林千葉演習林で行う抵抗性マツ苗木の開発・改良の研究に対して助成しました。

また、希望される全国 18 のゴルフ場に、管理しやすい 5 年生抵抗性アカマツ（樹高 50cm-120cm）合計 1,200 本を令和 3 年 3 月に配布いたしました。

## 2. 緑化貢献の顕彰

「エージシュート大賞」と「緑化貢献大賞」については大変好評を得ています。会員ゴルフ場を通じて希望に応じ、トロフィーまたはバッグ札を授与し表彰いたしました。令和 2 年度「エージシュート大賞」は 16 名、年間最多プレーの方々を表彰する「緑化貢献大賞」は、20 名でした。

## 3. GGG 国立・国定公園支援事業

環境省と連携し、国立公園や国定公園において、地域の理解や協力のもと自然環境の保全を目的としたボランティア団体の健全な活動に対して、毎年度支援しています。今年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、団体の募集を見合わせざるを得ず、残念ながら実施できませんでした。

### (3) 植樹緑化事業

被災地復興支援、緑化推進、環境保全を、また学校や福祉施設、公園などの公共施設をとりまく緑化環境の改善を念頭に、推進する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、学校や親子対象のイベントや「森林教室」などは、中止や延期を余儀なくされました。

計画通りではありませんでしたが、状況に改善の兆しが見えた令和 2 年夏から秋にかけ、入念な感染対策をとり、運営方法・プログラム内容に工夫を凝らし実施することで、希望の明日へと繋ぎました。

#### 1. 被災地復興支援事業

復興のシンボルである憩いの桜公園づくりは、「宮城県県民の森」内で推進いたしました。また、海岸防災林の再生事業「ゴルファー未来の森」については維持管理に必要な保育作業を丁寧に行いました。

##### (1) 宮城県県民の森「ゴルファー桜の森」保全事業（宮城県富谷市明石地内）

「宮城県県民の森」では、令和元年の台風 19 号により土砂崩れや倒木などの大きな被害を受けましたが、「ゴルファー桜の森」は、無事に乗り切りました。

「ゴルファー桜の森」がより健やかに成長し、多くの方々の憩いのフィールドになるように、5 月から 9 月にかけて、幼果菌核病の消毒作業、刈払整備、つる切り、点検など、7 回に渡り 32 名で実施いたしました。全枯損、上部枯損等がありましたが、その原因の多くはウサギ食害、そして幼果菌核病によるものでした。また、イノシシがコリの根を掘った影響で枯損する苗木も見られました。オオスズメバチ、コダカスズメバチの巣も処理しました。

##### (2) 宮城県県民の森「ゴルファー桜の森」づくり（宮城県富谷市明石地内）

上半期は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、計画していたイベント等は実施できませんでしたが、令和 2 年 10 月 31 日（土）には、感染対策を万

全にとり、規模を縮小し「ゴルファー桜の森 第3回サクラ植樹祭」を開催いたしました。

保全活動を通じ、ウサギ食害や幼果菌核病による枯損が見られましたので、50本の捕植を県内の親子30名とボランティアや特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会の方々を含め、総勢57名で実施。同時に除伐、もやかき、施肥、結束しなおし、チキンワイヤー取付等を行いました。また「ゴルファー桜の森」に、より楽しい賑わいが出るようにモニュメントの両側に花壇を、そして森をつなぐ遊歩道をつくりました。

滞りなく植樹活動や整備を実施したあとは、自然体験活動、ネイチャークラフト活動、花苗植え付け活動、フラワーデザイン活動などのレクリエーションを行い、子どもたちの笑顔と成長を見守ることができました。

### **(3) ゴルファー桜の森「森林教室」**

昨年度、2校対象に「森林教室」を実施した際、大変な好評を得、開催継続の期待の声をいただきました。「ゴルファー桜の森」では、地域の子どもたちが森づくりに挑戦したり、自然に触れあったりする機会を提供し、一人ひとりが自然環境に対する理解を深めながら、感性を養い、自らサクラを育て見守る意識を醸成する場にしていきます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のため、学校内での活動が困難になり、屋外での活動に大いに期待がかけられました。

令和2年11月5日（木）、『**仙台市立南材木町小学校**』4学年児童45名に引率の先生4名を交え、また令和2年11月18日（水）には、『**利府町立青山小学校**』4学年児童61名、先生3名に、それぞれ特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会運営スタッフ24名によって、感染対策を万全にとり実施いたしました。

午前は、自然観察、遊歩道整備、枝打ち除伐、竹除伐、施肥、鳥の巣箱づくりと設置、丸太ベンチづくりと設置、樹名板設置、植樹と獣害対策作業、ロープ遊び、崖のぼり体験、走り幅跳びなどの森づくり体験で汗をかき、泥んこになり、午後は、森の木枝からネイチャークラフト工作、そして井戸掘りや薪割り、パターゴルフ、ロープ遊びなど、存分に楽しみました。自然、森での遊びや活動を通じ、木々の名前、植樹、育樹、道具の使い方などを学び、災害にも負けない逞しい人間へと育む機会になりました。

### **(4) ゴルファー桜の森「地域森林ボランティア活動」**

「地域の方々で育てる『ゴルファー桜の森』」を合言葉に、令和2年11月7日（土）、近隣の森林ボランティアの方々14名と特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会運営スタッフ6名の計20名で、植樹・保育活動を行いました。

まずは「ゴルファー桜の森」の活動意義、及び地域貢献について、続いて宮城県の自生サクラの種類や近年のサクラ植樹の流行樹種について、講義をしました。その後、サクラ植樹の実習及び活動で30本の苗木を植樹しました。また、ウサギ

の食害により植樹した苗木の生育に支障をきたしていることから、ウサギ対策の研修、そして作業を 50 本に実施しました。活動後は、様々な樹木観察、自然観察をし、豊かな環境を実感してもらいました。

地域の方々に「golfer桜の森」のこれからの成長を共に楽しみにしてもらえ、絶好の機会となりました。

**(5) 「golfer未来の森」保全事業**

被災地復興支援事業のひとつとして、海岸防災林の再生を目的とし、平成 28 年度から平成 30 年度にかけ、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会の協力を仰ぎ、抵抗性クロマツを植栽し「golfer未来の森」を造成しました。現在は、健全な育成を念頭に丁寧に保全事業を推進しています。

5 月 1 日から 9 月 30 日にかけて、生育調査、状況確認をし、雑草除去、除草、刈払整備作業をしました。生育良好ですので、施肥作業は実施しませんでした。

**a. golfer未来の森 山元** (宮城県亘理郡山元町 3,000 m<sup>2</sup>)

生育調査、状況確認、刈払・つる切り作業を 3 回に渡り 9 名で実施。平成 30 年 5 月の苗の枯損は止まりましたが、水はけの悪い北側の状態が芳しくないため、令和 3 年 3 月 20 日（土）に、子どもを含め 8 名でクロマツ苗 35 本を捕植し、同時に排水路を掘り、植樹地の排水環境の改善を図りました。

**b. golfer未来の森 仙台** (宮城県仙台市荒浜 2,000 m<sup>2</sup>)

生育調査、状況確認、刈払・つる切り作業を 4 回に渡り 12 名で実施。生育は良好です。スス病が 8 本、芯食い虫が 2 本発生していましたが、消毒等は必要ない状態です。

**c. golfer未来の森 北官林** (宮城県仙台市荒浜北官林 1,000 m<sup>2</sup>)

生育調査、状況確認、刈払・つる切り作業を 4 回に渡り 11 名で実施。順調になり、施肥の効果か葉の色が戻ってきました。雑草は少なめながら、ツルマメ等が出てきたので、しっかりと除草作業をしました。

◇ 生育状況調査結果 (令和 2 年 8 月現在)

植栽年月	場所	枯損数	生存率	生育状況	樹高最大
平成 28 年 5 月	山元	1 / 506	99.8 %	良好	240 cm
平成 29 年 3 月	山元	25 / 517	95.2 %	良好	210 cm
平成 29 年 5 月	仙台	60 / 1000	94.0 %	良好	168 cm
平成 30 年 3 月	北官林	20 / 512	96.1 %	良好 捕植苗良好	160 cm
平成 30 年 5 月	山元	116 / 520*	77.7 %	良好 枯損多い	130 cm

\*令和 3 年 3 月 20 日捕植作業済み

**(6) 野田村「ハマナス」植栽事業** (岩手県野田村十府ヶ浦公園)

東日本大震災、そして大きな台風などにより甚大な被害を受けた野田村が取り組んでいるコミュニティの再生、新たな村づくりを支援しようと、昨年度より 3 年計画で推進しています。

野田村の花「ハマナス」を植栽し、心安らく豊かな地域をつくります。昨年度は令和元年8月11日、11月6日の2度にわたって合計600株の苗を植えました。

今年度は、ハマナスの植樹や住民参加型のイベント等を実施する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で人の動きにともなう活動が困難なうえ、予定の苗の準備も見込めず、延期せざるを得ない状況となりました。今年度は、来年度のための準備期間といたしました。

## 2. 健全な緑化・環境教育支援事業

**(1) 二戸市「漆うるわしの森」植栽事業** (岩手県二戸市浄法寺町 3.72ha)  
二戸市が取り組んでいる漆の植栽、漆職人育成事業等に賛同し、漆植栽事業を昨年度より二戸市漆産業課と連携し、推進しています。

植栽した3,650本の苗木が健全に成長するように、8月、7日間かけて下刈りを実施しました。昨年度、植栽前に地拵えを行ったので、草はあまり伸びず1回で済みました。また、国や地方自治体の関係官庁、漆研究機関、漆産業に関心をもつ大学などが視察、調査等に訪れ、概要や目的を説明し現地の案内をいたしました。

また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で、企画していたイベントは、中止を余儀なくされましたが、管理用道路の整備は実施し、完了することができました。

**(2) 緑の学び事業** (北海道夕張郡長沼町)  
令和2年秋に予定していた第44回全国育樹祭(於:北海道苫小牧市)は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、延期が決定されました(令和3年10月開催予定へ)。そして、全国育樹祭の開催に向け、森林環境教育に取り組む機運の醸成、及び学校教育環境の向上を目的とし、5月にエゾヤマザクラ(町の木)やライラック(町の花)などを長沼小学校に記念植樹、式典を開催し、植樹や河畔林整備なども行う予定でしたが、安全と安心を第一に延期せざるをえませんでした。

しかし、とりまく環境、状況を注視しつつ、日程調整を重ねて行い、老齢樹木(34本)の伐採、千歳川右岸に植樹(150本)、木工教室の開催(22名参加)等、順次、無事の実施に至りました。10月4日(日)には、少人数ながら記念植樹、式典を開催。緑の少年団の今後のさらなる活躍を期待し、ユニフォームも贈呈しました。

**(3) 海岸プラスチックごみ清掃事業** (宮城県仙台市深沼海岸)  
今や世界で抱えている環境課題のひとつとされる海洋プラスチックごみについて、未来を担う子どもたちが、現状を知り、未来を考える機会とする「深沼海岸マイクロプラスチックごみ清掃大会」を令和3年3月28日(日)に開催いたしました。宮城県における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染状況が芳しくないなかではありましたが、参加を希望される方々からの声もありましたので、人数を制限し、感染対策をしっかりと行ったうえで、実施いたしました。ごみの数をスタッフと対戦する方式でのごみ拾い活動。子どもたちにとっては楽しい時間となりました。

成果を自慢し合った後は、ビーチコーミング活動(海岸などに打上げられた漂着

物を収集したり、観察したりする活動) や砂浜遊びをし、海岸での活動を満喫しました。

#### 4. その他事業

##### 1. ホームページの充実

ゴルファーのみならず、誰からも当会活動への興味、理解が得られるように、また賛同、支援へつながるように、適時ホームページ、フェイスブックの更新、刷新を図りました。

##### 2. ロハスフェスタへの後援

国民スポーツとしてのゴルフの健全な発展、及び活性化に資するため、今年度も年間を通じ全開催に対し— ロハスフェスタ万博 2020 SPRING (4月24日～26日/4月29日～5月2日)、ロハスピクニック尼崎 produce ロハスフェスタ (5月16日～17日)、ロハスフェスタ東京 2020 (9月19日～22日)、ロハスピクニック広島 produce ロハスフェスタ (10月3日～4日)、ロハスフェスタ福岡 2020 (10月10日～11日)、ALOHAS 洲本・花みどり produce ロハスフェスタ (10月17日～18日)、ロハスフェスタ万博 2020 AUTUMN (10月30日～11月3日/11月6日～8日) — 後援しました。

あいにく、上半期は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大が深刻化し、全て開催中止となりました。秋に開催が予定されていた淡路花博花みどりフェアも同様に中止されましたが、プレイベントとして、淡路ロハスピクニック“ALOHAS”、及びロハスフェスタ万博 2020 AUTUMN は、感染症対策を万全にしたうえで、開催されました。“ALOHAS”は、規模を縮小し、淡路花博 20 周年記念事業実行委員会との共催で『新型コロナウイルス感染防止予防ガイドライン』に沿って、また、ロハスフェスタ万博 2020 AUTUMN では、ウィズ (With) ・コロナ時代のイベントとしてリアル開催、同時に会場の様子をオンラインで生配信というハイブリッド形式で実施。ライブ中継に生レポートという参加型の企画など、新たなチャレンジに 1 年ぶりの活気を感じることができました。

令和2年度 ロハスフェスタ	入場者数	出展数	回収量					
			ゴミ		使用済み 天ぷら油	牛乳 パック	ダウン	古本回収
淡路ロハスピクニック“ALOHAS” 2020 令和2年 10月 17日(土)～ 18日(日) 於：洲本市民広場(兵庫県洲本市)	4,624 人	52 ブース	- kg	215 袋*	- L	- kg	- 個	26 冊
ロハスフェスタ万博AUTUMN2020 令和2年 10月 30日(金)～11月 3日(火) 11月 6日(金)～ 8日(日) 於：万博記念公園(大阪府吹田市)	141,509 人	611 ブース	1,580 kg	- 袋	330 L	80 kg	29 個	246 冊
合 計	146,133 人	663 ブース	1,580 kg	215 袋*	330 L	80 kg	29 個	272 冊

※45Lゴミ袋